学校法人 長崎学院 長崎外国語大学

ぶどうの樹

2023.12
NO.33

INDEX

特集1：外語祭
特集2：短期語学研修
特集3：ホームカミングデー、外語祭OB/OG会開催

6 記憶の継承
7 チャペル通信
8 9 大学情報
10 同窓会だより　保護者会だより
11 寄付事業のお礼と報告

特集 1

第71回「外語祭」を10/28(土)

今年のテーマは「革命」です。パワーアップした学園祭にしようと、主催する学友会執行委員会のメンバーが一丸となって企画を練り、準備を進め、警察音楽隊ライブや人気芸人のトレンディエンジェル・ZAZYによるお笑いライブなど、若い世代から大人まで楽しめる学園祭となりました。

模擬店

焼きそば、フランクフルト、トッポギなどレパートリー豊かな食べ物を販売し、完売した店舗も多数ありました。

担当：木戸　奏斗さん（現代英語学科3年）

今回の外語祭はコロナ禍明けの通常開催に伴い、4年ぶりに飲食物を販売することができるようになりました。そのため、私も出店者も分からないことが多く、スムーズに準備を進めることができなかったのですが、皆様のご協力のおかげで、前年よりも盛り上がった外語祭にすることができたと思います。

龍踊

生きた龍のように躍動する姿が迫力満点で、「もってこーい」のアンコールが鳴りやみませんでした。

担当：田村 玄太さん（国際コミュニケーション学科フランス語専修3年）
家長　真奈未さん（国際コミュニケーション学科韓国語専修1年）

龍踊は籠町と長崎女子高校に来ていただきました。両日ともたくさんの人が来てくださり見てくれていたのでとても嬉しかったです。今年は体育館前広場の模擬店の中心で披露する形になりましたが、次回は観客が見やすく披露もしやすいグラウンドでするなど工夫をしたいと思います。

ビンゴ大会

「PlayStation5」や「プロジェクター」など豪華賞品が当たるビンゴ大会は、芸人ライブと変わらないほど盛り上がりました。

担当：山口　航大さん（国際コミュニケーション学科ドイツ語専修3年）

メインMCとして場を盛り上げることができました。
出た数字を阪神の選手の背番号に結び付けたり、語呂合わせで時間を稼ぎ長い確認時間でも観客を退屈させずに仕事を全うできました。

軽音ライブ

担当：吉村　海里さん（現代英語学科2年）

今回の軽音ライブは想像以上にお客さんが入り盛り上げてくれ、音響照明も本格的で環境が整っていたなと感じました。来年はより良いライブを作り、今年を超えるライブを作っていきたいです。

-10/29㈰ に開催しました。

eスポーツ大会

マリオカートで白熱した戦いが繰り広げられ、満員の観客を沸かせました。

担当：田辺　治暉さん（国際コミュニケーション学科フランス語専修3年）
桂　眞輝さん（現代英語学科1年）

初めて外語祭に参加しましたが、皆でサポートしあったことでやり遂げることができました。eスポーツ大会は、観客が多く来てくれて盛り上がりました。少し流れが悪くなる時もあったので、反省点を後輩に伝え、来年はよりよいイベントができるようにしたいです。

Tシャツ作成ブース

担当：重森　都さん（現代英語学科3年）

初めての学内イベントの企画だったので、楽しんでもらえるかどうか不安なところがありました。しかし当日は予想以上の人がTシャツを作成してくださり嬉しかったです。また、できあがる作品を見ていくのも個人的に楽しいと感じました。

キッズスペース

担当：斉藤　綾さん（国際コミュニケーション学科韓国語専修1年）
東　結寿子さん（現代英語学科1年）

想像していた以上に人が来て賑わっていました。ボールゲームはとても人気でしたし、お絵描きスペースはたくさんの子どもたちが絵を描いてくれました。

インスタ映えスポット

担当：荒巻　和奏さん
（国際コミュニケーション学科韓国語専修1年）

装飾を作っていく中で、お客さんが集まるにはどうすべきか議論を重ね、色々変更点もありましたが、みんなが臨機応変に対応してくれたため進めやすかったです。

コロナ禍明けの4年ぶりの通常開催となった第71回「外語祭」は、本学学生の交流の場となり、近隣住民や子どもたちに本学の特色を知っていただく貴重な場にもなったのではないかと思います。外語祭にご協力いただいた皆様方に、外語祭が無事に終了いたしましたことをご報告するとともに、心より感謝申し上げます。

特集 2

中国香港・韓国から短期研修生の受け入れを行いました

8月から9月にかけて中国香港と韓国から来日した短期研修生を対象に「短期日本語・日本文化研修プログラム」を実施しました。中国香港から25人が2週間、韓国から14人が4週間の日程で参加し、日本語による授業や雲仙・島原地域での一泊研修、福岡県と佐賀県内での現場研修、日本人学生との交流体験などに取り組みました。

このうち、韓国からの短期研修生が参加した福岡県内での現場研修では太宰府市内を訪問。古くから九州地方が東アジアの交流拠点であったことを示す大宰府政庁跡や九州国立博物館の展示を見学しました。日本と韓国による文化交流の歴史に思いを馳せていた参加者の姿が印象的でした。

特集 3

「ホームカミングデー2023」、「外語祭OB／OG会」を開催しました

10/21（土）　ホームカミングデー 2023

秋晴れの土曜日の午後、大学と同窓会の共催で「ホームカミングデー2023」を開催しました。

長崎市内はもとより遠くは福岡、熊本からもご参加いただき、当時を知る青山愷先生、阿南婦美代先生、戸口民也先生、石川昭仁先生のご出席の下、終始和やかな雰囲気での会となりました。

短大跡地を巡るツアーとして学院創立の地である馬町教会から本大工町（現長崎市役所）、泉町の校舎跡地をバスの車窓から眺めながら、卒業後に変わりゆく長崎市内の街並み、あるいは変わらずに残っている懐かしい街並みに思いを馳せました。40数年前に住んでいたビルを発見し、思わず歓喜の声が上がる場面も！また現校舎では、旧校舎（泉町）から現校舎への移転時をよく知る戸口先生の案内で、スタジオやパソコン教室など旧校舎にはなかった教室などを見学しました。

当日案内役を務めました在学生（4年生）から、卒業後60年を迎える卒業生、今年卒寿を迎えられた先生まで老若男女が集い、それぞれの学生時代を思い出しながら楽しいひと時を過ごしました。

卒業生の皆さまは、最後はＪＲ長崎駅で握手をして再会を願い、それぞれ帰路につきました。

今回ご参加くださった皆さま、そしてあいにく参加が叶わなかった皆さまも、次の機会にぜひ長崎外大でお会いしましょう！

様々な催しの案内はホームページで発信いたします。お楽しみに！

10/28（土）－29（日）　外語祭OB/OG会

10/28（土）－29（日）の両日、4年ぶりの外語祭通常開催で同窓会の「OB/OG会」ブースが復活しました。

卒業生の皆さんはもちろんですが、現役の外大生や、お父さんやお母さんに今はまだ手を引かれた「未来の」外大生にも多く訪れていただきました。

まさに、長崎外国語大学が「過去から現在」「現在から未来へ」と続いていることを再認識できたOB・OG会となりました。

大学初で唯一の、旅程管理研修機関

ランチは外務省が美味しい、と教わり楽しみにして霞が関に向かったのは、2006年11月、申請中の旅程管理研修機関登録のヒアリングで、国土交通省に行った時のことです。前の週に、来週ヒアリングに来てください、という連絡を受け、作ってもらったばかりの身分証を持参して東京へ。2005年に旅行業法の一部が改正されたことにより、旅行業者のみ登録されていた旅程管理研修機関が旅行業界外からも登録可能となったことを受けての、申請チャレンジでした。

2006年9月に福岡の九州運輸局に相談に行った時には、大学では全国で初めてというだけでなく、九州での登録申請自体も本学が初めてということで、九州運輸局としても機関紙に掲載する等の宣伝をしたい、と担当官に言っていただけるほどでした。

2007年ニューカレドニアでの実務研修で受講生が撮影

登録申請の準備を始めた当初は、参照できる事例がなく、運輸局からも、とりあえず自由に叩き台を作ってもらって関係する法令に照らし合わせて調整していきましょう、という感じでした。

カリキュラムや試験問題等の研修内容は、旅行業者でもある当時の主任講師と相談して作成しましたが、規程をゼロから作る際には既に研修機関として登録されている、面識のない旅行業者に片っ端から問い合わせ、唯一、規程のサンプルを送ることを快諾してくださった某機関に出会えた時には、心から有難いと思ったものでした。ライバルとなる研修機関が増えることより、大学が申請することに意気を感じてくださったようでした。

さて、2006年11月、国土交通省でのヒアリングは無事に終えることができました。面会予約のない他の省庁には入れず、外務省でのランチは叶わなかったものの、日本の中央行政機関のセキュリティはしっかりしている、と妙に感心したものでした。

ヒアリングから帰ってくると、毎週のように国土交通省から確認や問い合わせの電話が入り、そろそろ申請が通るだろうと思われていた矢先に「学校教育法と教育基本法に従って教育を行う学校法人としては、そこに書かれていない事業はできないのではないか」、という質問が投げ掛けられました。このタイミングにその質問かと意表を突かれましたが、当時の事務局長とともに学校教育法と教育基本法、更には私立学校法のページも繰り続け、「できる」根拠となる条文を探したことは、忘れることのできない思い出です。やはり日本はきちんとした法治国家で、何事にも法令の拠り所が必要なのだ、とこれもまた妙に納得したことでした。

2009年パリでの実務研修で受講生が撮影

2006年12月に全国の大学で初の旅程管理研修機関として当時の国土交通省（現観光庁）に登録され、翌2007年4月より本学での旅程管理研修がスタートし、これまでに多くの旅程管理主任者（添乗員/ツアーコンダクター）を養成してきました。

海外旅行に限らず国内の近場のバスツアーであっても、旅行会社が企画する添乗員同行ツアーの主任添乗員は、国に登録した機関が実施する旅程管理研修を修了し、旅程管理主任者資格を取得していなければなりません。外国語が使えれば、海外ツアーはもちろん、海外から日本を訪れる旅行者、いわゆるインバウンドのツアーにも対応できます。

2006年の時点で国土交通省に登録されていた旅程管理研修機関は全国22機関で、2023年4月現在には46機関になっていますが、大学での登録は、登録番号第23号の本学のみ、です。他は全て旅行業に携わる企業や旅行関係の専門学校、旅行業界の人材派遣会社です。本学の後に研修機関として登録された大学はあったと聞き及んでいましたが、いつの間にか独自に登録機関となっている大学は、本学だけに戻ったようです。

外国語を学び、海外に留学できる本学の特性との親和性が高い資格だからでしょうか、この資格取得を目指して本学に入学したと言ってくれる学生がいた事実の積み重ねがあって今日に至ります。今も各地で活躍している卒業生がいます。研修機関の登録は更新され続け、旅程管理研修は、現在も本学で開講されています。

別所 佐和子（マルチメディアライブラリー事務室）

受けるよりは与える方が幸いである

あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が「受けるよりは与える方が幸いである」と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。（使徒言行録 20：35）

牛島 幹夫（長崎聖三一教会牧師）

20年程前に韓国人の大学生に教えてもらった話です。

あるとき一人の女の子が天使からプレゼントを貰いました。天使は、その女の子に「誰かが来て分けて欲しいと言ったら、これを分けてあげてください」と告げ、去っていきました。そのプレゼントはとても素晴らしいもので、見ているだけでとても幸せな嬉しい気持ちになりました。女の子はそのプレゼントを両腕の中に大事に抱えこみました。

しばらくすると一人の人がやってきて女の子に頼みました。「その両腕の中のものを分けてくれませんか？」しかし、彼女はかたくなに拒みます。大事な大事な天使のプレゼント、少しでも減らしたくありません。頼んだ人はがっかりしてそこを去っていくのですが、その瞬間に彼女の両腕の中にある天使のプレゼントは半分になってしまいました。彼女は焦って、これを絶対になくしてはいけない！と感じました。

そこに次の人がやってきて、また「腕の中のものを分けてください」と頼みました。彼女は必死に拒みます。半分になっていますからこれ以上減らしたくないのです。でも、次の人が去ると、このプレゼントはまた半分になってしまいました。その後も次々に人が来て「分けて下さい」と頼まれますが、それをみんな断っていくうちに、両腕いっぱいにあったはずの天使のプレゼントは、ついに無くなってしまいました。そして、彼女は悲嘆にくれてしまいました。

するとそこへ、両腕いっぱいに何か素敵なものを抱えた別の人がやってきました。よく見ると、天使がくれたプレゼントを持っています。この人は悲嘆にくれた彼女を見て、自分の腕の中にあるものを分けてくれました。最初、彼女は「あなたのも無くなってしまうから」と断ります。でも、もう一人の人は「心配ないよ」と言って分けてくれたのです。すると、どうしたことでしょう！もう一人の人の腕の中にある素敵なものが大きくなったのです。彼女も試しに他の人に分けてみることにしました。すると、彼女の腕の中のものも少し大きくなりました。天使の言葉を思いだして、彼女にも笑顔がもどりました。

このプレゼントは何でしょう？それは「愛」です。

人間は独りでは生きていけない存在です。神さまは、人を誰かと一緒に生きていくように創られました。その間を豊かにつなぐものが愛です。愛という言葉は漠然としていますが、相手を大切にすること、相手を尊重することと理解してもいいと思います。愛は人と人を結びます。そして、愛は与えあうことによってさらに豊かにされるものなのです。

長崎外国語大学が一人一人を尊重し、大切にする、そのような思いにあふれた場所となるようにお祈りいたします。そして、ここに集う一人一人の日々の生活を通して、神さまの愛が出会う全ての人に示されていきますように。皆様に神様の導きと祝福をお祈りいたします。

（2023年10月4日 チャペルアワー奨励より）

オープンキャンパスを開催しました

7/22（土）、8/5（土）、8/26（土）に夏のオープンキャンパスを開催しました。九州各地はもちろん四国・近畿・中部地方等遠方からの参加もあり、計204名の高校生が足を運んでくれました。

約1日をかけて行われるオープンキャンパスですが、各言語の体験授業、世界の料理を楽しめるインターナショナルランチ、在学生による留学体験談の発表、入試・留学・就職の相談コーナー、アンペロス寮見学など、本学について深く知っていただける機会になったのではないかと思います。クロージングイベントでは、外国語や外国文化等に纏わる問題を出題する“外大クイズ”を行い、見事クイズに正解した上位入賞者にはワイヤレスイヤホンやチェキ等の豪華賞品が贈呈されこの日一番の盛り上がりを見せていました。

「世界がキャンパス・キャンパスが世界」をスローガンとしている本学ですが、オープンキャンパスへの参加を通して、高校生の皆さんが世界を身近に感じてもらえる機会になっていれば幸いです。

2023年度留学許可書授与式を挙行しました

2023年8月以降、海外の協定校へ留学する学生約70名の留学許可書授与式が行われました。

今回の海外派遣留学プログラムに参加する学生たちは、アメリカ、イギリス、カナダ、ドイツ、フランス、ベルギー、韓国、中国・台湾の協定校でそれぞれ半年～1年間の留学を経験します。

留学中の学生全員が安心した留学生活を送れるよう、教職員一丸となってサポートしていきたいと思います。

2023.7.27　留学許可書授与式の様子

韓国大学生訪日団が本学を訪問しました

6月29日、韓国国立国際教育院派遣韓国大学訪日団より38名の大学生が本学を訪問し、本学で韓国語を履修している学生40名と交流活動を行いました。

韓国からの訪日団の訪問は2019年度以来、その後のコロナ禍で4年ぶりとなりました。

日本では挨拶をするときに「今日は天気がいいですね」と天気の話から始まりますが、韓国では「ご飯は食べましたか？」を話題にするほど韓国人にとって食事は大切だそうです。交流会ではその食事（昼食）を通してお互いに交流を深めました。また、本学の学生が学内を案内したり、各グループに分かれて大学生活などそれぞれが選んだテーマに応じたディスカッションと発表をするなど、学生たちはとても貴重な時間を共有しました。

訪日団代表学生の挨拶で「一期一会」という言葉を引用されましたが、この交流会での出会いが「一期一会」で終わるのではなく、これからも末永く続くことを願います。

就活キックオフ集会を開催しました

就職活動が解禁される来年3月に向け、全員で良いスタートを切ろう！という思いを込めて24年度卒業予定者を対象に就活キックオフ集会を開催しました。

当日は65名の3年生が参加し、就職活動準備に向けた行動や秋に開催されるインターンシップ情報をしっかりと確認していました。

特に印象的だったことは、内定者3名による体験談です。リアルな声を聞き逃すまいと、真剣な表情でメモを取る学生の姿が見られました。

“やりたいことの探し方”や“入社企業の決め手”など4年生への質問も多く、学生達の就職活動に対するやる気がアップした1日となりました。

集会の中で実施したアンケートでは就職活動に不安を感じる学生が参加者のうち約8割もいることがわかりました。これからしっかり準備し、自信をもって就職活動に励めるよう引き続き教職員一同でサポートしたいと思います。

「がんばるぞー！」と姫野学長からもエールをいただきました！

卒業生とともに就活支援イベント、キャリア関連講義を開催しました

今年3月に本学を卒業し、客室乗務員、ITエンジニアとして働く卒業生2名からの「後輩のために何かできないか」という言葉をきっかけに、就活支援イベントを開催しました。就活体験談講話『教えて先輩』では“就職活動対策やメンタルケアなどについて”、またキャリアプランニングでは、“早いうちからチャレンジすることの大切さについて”お話いただきました。学生生活のほとんどがコロナ禍に見舞われた世代ですが、低年次から積極的に平和祈念式典通訳随行業務や英語プレゼンテーション大会に参加し、自分の成長のために沢山挑戦されたようです。多くの経験を積み重ねたからこそ培ったチャレンジ精神やコミュニケーション力が現在にも活きているのだと感じ、社会人として活躍する姿に感動しました。

● 同窓会だより ●

梅から学ぶ

日本の俳句では「花」を使って日本の四季を表現することができるように、花には見た目の美しさや香りの良さ以上に、私達に訴えかけてくるメッセージ性を持っています。

長崎外国語大学のキャンパスには、卒業生が主となり寄贈した梅の木が立っています。その梅は、誰かと約束している訳でもないのに、厳しい寒さを超えて毎年可憐な花を咲かせてくれます。

寒さが厳しくとも誠実に咲いているその梅の高潔な姿を見て、寒さは緩み桜が咲きほころぶ春となり、草花が賑やかな夏へと季節が移ろって行きます。

外大キャンパスに毎年凛と咲く梅の花は、その姿をもって私達の「あるべき姿」をまるで教えてくれているようです。

● 保護者会だより ●

初冬の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

先月28日と29日の二日間行われた学園祭、少し肌寒くもありましたが、無事に終了することができました。

数年ぶりに解禁となった学生達の飲食出店はとても賑わっており、以前の活気ある学園祭の姿を少しずつ取り戻しているようで、その姿は懐かしくもありました。

また〝保護者会 presents〟として、二年前にも行われた籠町龍踊保存会による龍踊りを実施させていただきました。

当日、演舞が始まる前は曇っていた空も、龍が舞い出すと太陽が顔を出し、「長崎くんち」では見る事のできない近距離で龍踊を堪能することができました。

龍踊の龍は、中国の伝説の生き物で、蛇の体・虎の足・鹿の角など、様々な動物の特徴を組み合わせた姿をしているそうで、龍の踊りは元々、数千年前に中国で五穀豊穣を祈る雨乞いの神事として始まったといわれているそうです。

龍が金色（こんじき）に輝く玉を追い求めて乱舞する姿は、今年の学園祭の大きな思い出として学生のみならずご来場された皆の記憶に残していただけたら幸いです。

今後とも引き続き保護者会へのご協力をよろしくお願い致します。

長崎外国語大学保護者会
会長　神野　美由紀

教育研究の整備に関わる寄付事業のお礼と報告

平成27年4月から開始いたしました「教育研究の整備に関わる寄付事業」は令和5年9月末現在で1,014件、48,227,150円（内、令和5年4月1日～令和5年9月30日：53件、3,963,890円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

皆様の温かいご支援にお応えすべく、教育環境の整備のために鋭意努力をして参る所存でございますので、今後とも本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄付者ご芳名一覧　令和5年4月～令和5年9月ご寄付分　たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

（敬称略）

秋山　将吾	粟屋　曠	一宮　啓祥	川端　学	川原　仁幸	小道　隆	佐藤　辰巳
住川　純子	田端　安範	中小路　貴	内藺　美奈	西村　長吉	原田　澄	原野　浩二
春海　賢一	平下　美登里	平田　康子	松尾　博則	松下　裕一	松添　俊介	森脇　浩
山本　哲哉						

法人の部

㈱アイコック	㈱一広	㈲大谷書店	㈲小田警備保障
㈲九豊工業	㈱釘山工務店	㈱クリーン・マット	㈱サーブネット
㈱松栄設備	昭和スポーツ	㈱セキュリティーハウスケント	長崎外国語大学ビジネス㈱
㈱長崎ケーブルメディア	（一）長崎YMCA	㈱西九州エレベーターサービス	林兼石油㈱長崎支店
㈱プロゼ	㈱ホクト	星野管工設備㈱	㈱ほんだコーポレーション
㈱松田久花園			

新長崎学研究に関わる寄付事業のお礼と報告

平成28年4月から開始いたしました「新長崎学研究に関わる寄付事業」は令和5年9月末現在で343件、13,834,240円（内、令和5年4月1日～令和5年9月30日：28件、420,000円）のご寄付を賜り、ご支援をいただきました同窓会、保護者会、取引先、在学生保護者を始めとした多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

今後ともグローバル人材の育成という本事業の趣旨にご理解とご協力をお願い申し上げます。

寄付者ご芳名一覧　令和5年4月～令和5年9月ご寄付分　たくさんの温かいご支援ありがとうございました

個人の部

（敬称略）

粟屋　曠	岸川　善彦	佐藤　辰巳	田端　安範	中島　淳・順子
富永　真	西村　長吉	春海　賢一	森　美香子	

法人の部

㈱アイコック	アダチ産業㈱	㈱稲崎産業
㈲協和自動車工業所	㈱クリーンマット	㈱シンクアウト
㈱セキュリティーハウスケント	㈱チョープロ	㈱長崎メーブルメディア
（一）長崎YMCA	㈱ホクト	㈱松田久花園

寄付に係る税金（所得税・住民税）の優遇制度について

寄付をされると次の要領で税金が戻ってきます。詳しくは、法人事務局財務課までお問い合わせください。

個人　寄付金が2千円を超える場合は、超えた金額に40%を乗じた金額が税額控除されます。【(注):寄付金額は年間総所得金額の40%、税額控除は所得税額の25%がそれぞれ限度額となります。】
寄付をされた翌年1月1日現在、長崎県内の市町村の住民税課税対象となっている方は住民税についても寄付金控除が適用されます。
※上記以外の自治体の住民税課税対象となっている方は各自治体のホームページでご確認くださるか、直接自治体へお問い合わせください。

法人　受配者指定寄付金によって、日本私立学校振興・共済事業団を通じて寄付していただきますと、法人税法上、その寄付金を全額損金へ算入できます。【事前の手続きが必要です。ご説明をいたしますので寄付の際は大学にお申し出ください。】

ご寄付のお申し込みについて　お電話またはメールで、ご住所、お名前をお知らせください。法人事務局よりご説明および必要書類をお送りいたします。

お問合わせ先　**学校法人長崎学院　長崎外国語大学　法人事務局　財務課　（担当：森脇・前田）**
Tel　095-840-2003（法人財務課直通）　Email　keiri@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp

7月6日(木)、浴衣DAYが開催されました。

初めての浴衣に袖を通した留学生の嬉しそうな表情、わたがし作りやヨーヨー釣りなど、日本文化に触れる真剣な眼差し、日本人学生と留学生が交流を楽しむ姿がたくさん見ることができました。学友会メンバーが企画したイベントで、今年も大盛り上がりの夏となりました。笹の葉に込めた学生たちの願いが叶いますように…。

発行者／学校法人 長崎学院 長崎外国語大学 〒851-2196長崎市横尾3-15-1 TEL:(095)840-2000[代表]